


































| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | |
|---------|--|---|---|--|--|
| 経過 | 手術2日前(入院日) | 手術前日 | 当日(術前) | 当日(術後) | 術後1日目 |
| 目標 | 心身ともに安定した状態で手術を受けられる 治療に対する不安を表出できる | | | 術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) 合併症予防のためのリハビリ(歩行訓練呼吸訓練)が行える | |
| 検査 | 身長、体重測定 |  採血 | | |  採血 |
| 食事 | ※朝食は軽食とし、ご自宅で昼より流動食 |  昼から絶食(水、茶、スポーツドリンク可) 21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用 |  絶食(水分は医師の指示で再開) |  朝より水分制限なし | |
| | ※     | | | | |
| 処置・観察 | リストバンドを装着します(退院日まで) | 弾性ストッキングのサイズを測定しお渡しします |  朝浣腸します  時間になれば看護師が手術室にご案内します | 手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 ・背中のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します  創部の観察、処置を行います | |
| |  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります | | | | |
| 注射・内服 |  持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  夕 下剤を服用します |  以下を服用します ・昼 250ml の下剤 ・夕 抗菌薬 ・眠前 下剤、抗菌薬 | |  腸蠕動促進薬を服用します  夜 血栓予防薬を皮下注射します | |
| | | |  以下を点滴します ・持続点滴 ・抗菌薬 ・鎮痛剤 | | |
| 行動・リハビリ | |  シャワー浴、洗髪をします  |  以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し |  午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます | |
| |  制限ありません | |  翌朝までベッド上安静です |  付き添いのもと、リハビリを開始します | |
| 説明 |  医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について | |  医師より説明 ・手術の結果について  看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・痛み止めの使用方法について | | |

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 |
|---------|---|---|--|---|
| 経過 | 術後2日目 | 術後3日目 | 術後4～5日目 | 術後6～8日目(退院日) |
| 目標 | 術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) 合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)が行える | | | 排便コントロールが図れる 退院後の日常生活の注意点が述べられる |
| 検査 | | | | |
| 食事 |  水分制限なし | 朝より流動食開始 | 4日目 朝より全粥食 5日目 朝より常食 | 退院日は朝食のみ |
| |  |    |    |    |
| 処置・観察 | 以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば取り外します ・背中のチューブ(鎮痛剤) → 術後2～3日で取り外します ・創部の管 → 状況を見て術後3～7日で取り外します ・尿の管 → 術後2～3日で取り外します (抜去後、超音波を使用し残尿測定することがあります) | | | 退院時にリストバンドを外します |
| |  創部を観察、処置を行います |  | | |
| |  状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります | | | |
| 注射・内服 |  以下を服用します ・腸蠕動促進薬 ・鎮痛剤 |   | |  退院処方があります |
| |  夜 血栓予防薬を皮下注射します |  朝、夜 血栓予防薬を皮下注射します |  | |
| |  以下の点滴を行います ・朝、夕点滴 ・鎮痛剤 |   | | |
| 行動・リハビリ |  状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します | | |  創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週3回、病棟毎で日が異なります) |
| |  リハビリを継続します |  | |  (退院日) 朝食後退院です |
| |  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます | | | |
| 説明 |  医師より説明 ・退院後の療養計画、療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)  栄養士より説明 ・退院後の食事について | | | |

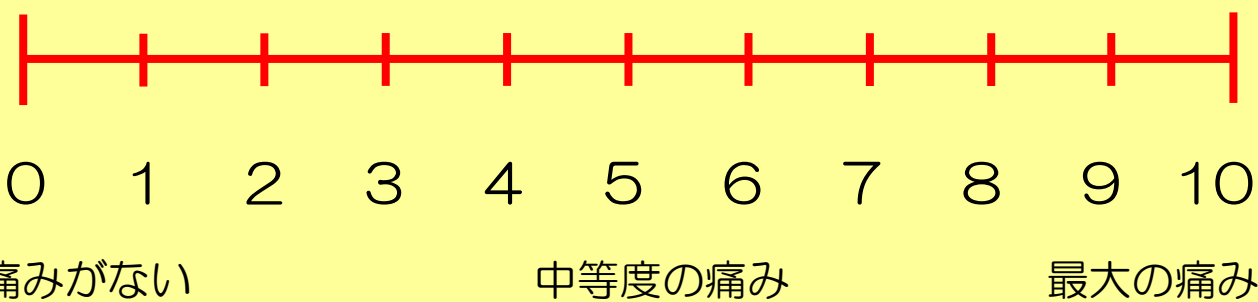
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 **手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

